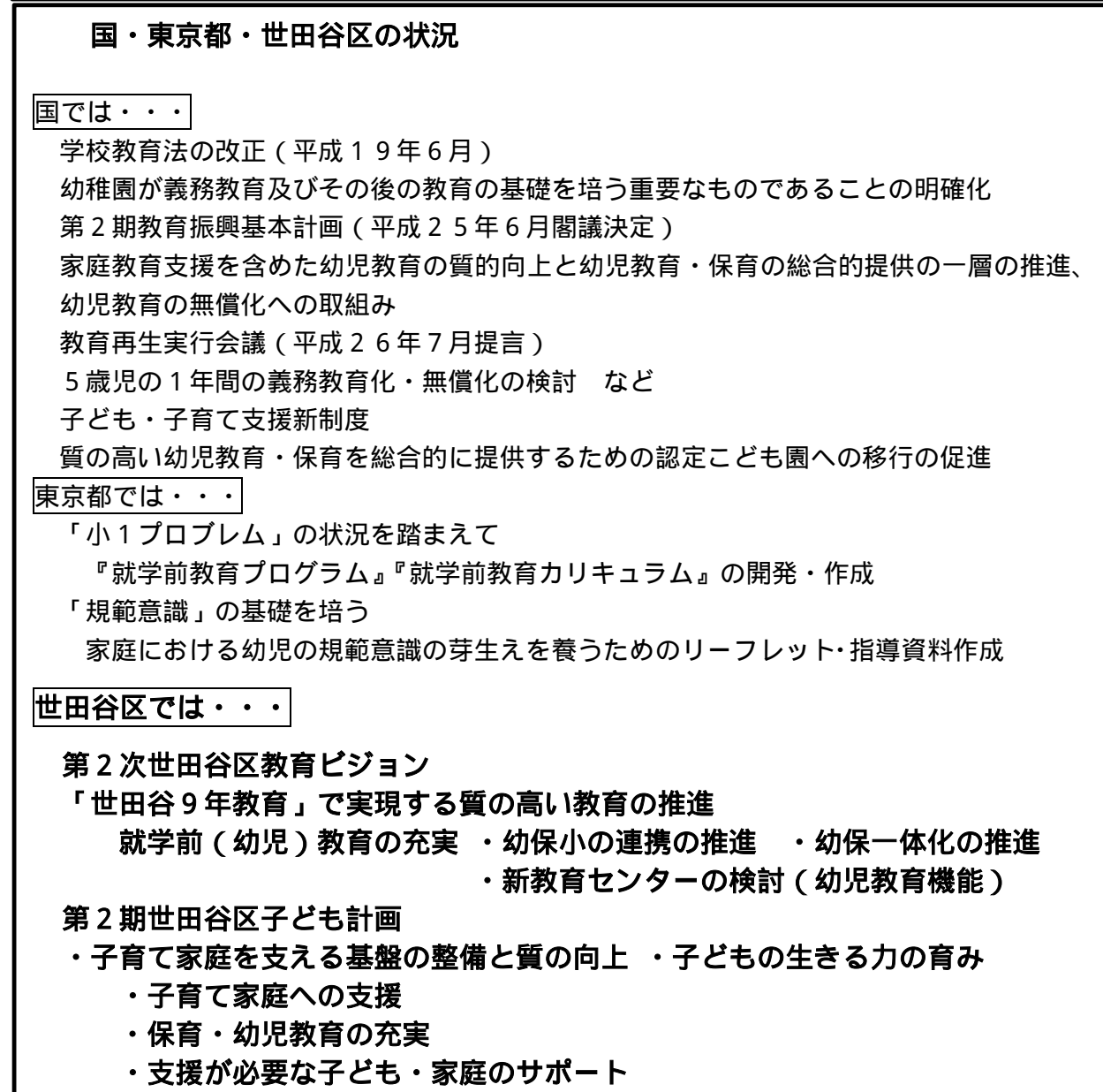
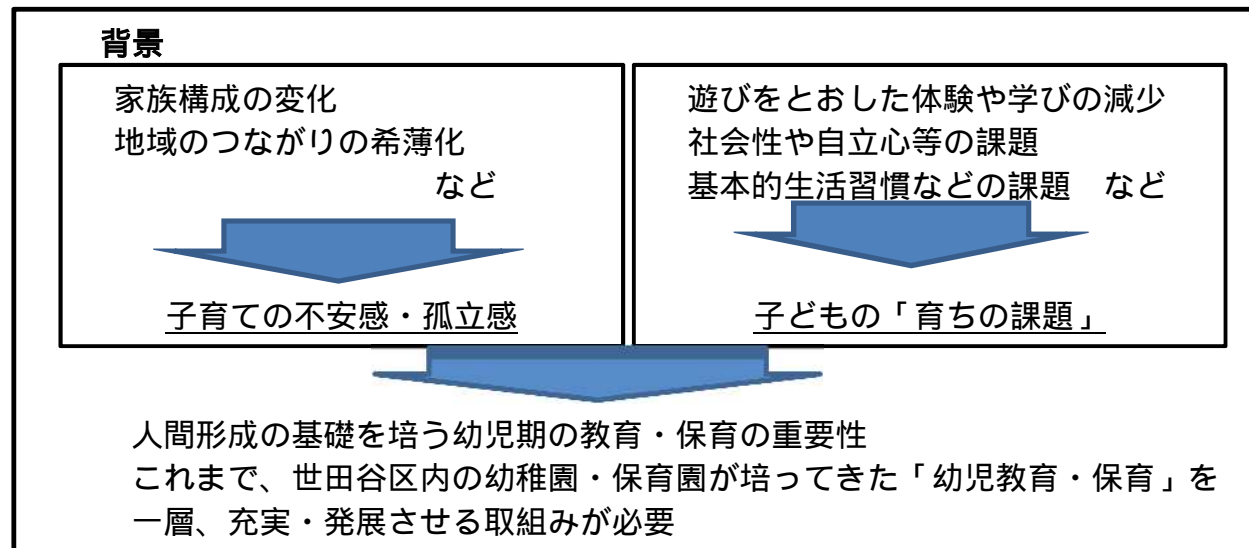


(仮称) 幼児教育・保育推進ビジョン策定の取組みについて



ここでいう『幼児教育』とは、幼稚園教育要領や保育所保育指針で示している「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」に関わる目標を達成するために就学前の子どもを対象に幼稚園や保育園が行う教育・保育とする。

世田谷区の乳幼児の状況及び就学前における教育・保育の課題

1. 乳幼児の状況

全体の6割の乳幼児が保育園・幼稚園に在園

3～5歳児の9割が保育園・幼稚園に在園

3～5歳児は、特に幼稚園の在園率が高い

1・2歳児の6割が家庭での養育

約85%の子どもが区立小学校へ就学

平成27年4月1日 ()内は平成26年4月1日

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
保育施設	1,337人 (1,232人)	2,605人 (2,483人)	2,783人 (2,667人)	2,450人 (2,281人)	2,293人 (2,208人)	2,153人 (2,096人)	13,621人 (12,967人)
	17.1% (16.6%)	35.0% (34.4%)	38.6% (37.0%)	34.4% (32.4%)	32.4% (31.8%)	30.9% (30.6%)	31.2% (30.4%)
幼稚園等	0人 (0人)	0人 (0人)	6人 (5人)	3,411人 (3,590人)	4,201人 (4,278人)	4,291人 (4,313人)	11,909人 (12,186人)
	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.1% (0.1%)	47.9% (51.0%)	59.3% (61.5%)	61.5% (62.9%)	27.3% (28.5%)
家庭・その他	6,497人 (6,186人)	4,845人 (4,737人)	4,411人 (4,542人)	1,261人 (1,170人)	588人 (463人)	530人 (446人)	18,132人 (17,544人)
	82.9% (83.4%)	65.0% (65.6%)	61.3% (62.9%)	17.7% (16.6%)	8.3% (6.7%)	7.6% (6.5%)	41.5% (41.1%)
乳幼児人口	7,834人 (7,418人)	7,450人 (7,220人)	7,200人 (7,214人)	7,122人 (7,041人)	7,082人 (6,949人)	6,974人 (6,855人)	43,662人 (42,697人)

2. 就学前における教育・保育の課題

幼稚園や保育園などにおける幼児教育・保育の環境や状況の違い等から、区立小学校への円滑な接続の難しさ

保育士や幼稚園教員の人材不足や若手教員の比率が高まっていることに対する教育・保育者の育成

配慮を要する子どもの対応など、全ての子どもが安心して園生活を送れる環境整備

幼稚園・保育園での教育・保育と家庭教育の連携

家庭等で養育している保護者支援 など

就学前の時期における教育・保育のあり方検討

新教育センター機能

幼児教育

(仮称)『世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン』策定

世田谷区における幼児教育のあり方(理念・目標)

(取組みの方向性)

幼児期から小学校への円滑な就学や保幼小の連携のあり方

幼稚園・保育園への体系的な支援、区立園の役割

幼稚園教員・保育士等の資質能力の向上に向けた取組み

幼児期における障害のある子どもへの支援体制のあり方

家庭や地域の幼児教育力の向上に向けた取組み

これらを推進するための(仮称)幼児教育センターの役割

研究・研修

学校支援

相談

情報

地域連携